

安心して使うための 生成AI安全利用 10カ条

第1条

入力に機密を含めない

顧客情報・人事情報・契約内容・数値データなど、社外に出せない情報は絶対に入力しない。

第2条

出力は必ず人が確認する

AIの回答は提案(たたき台)にすぎません。必ず人が内容・数値・表現を検証してから使う。

第3条

誤情報(ハラシネーション)を疑う

AIは事実のように見える間違いを出すことがあります。根拠・出典・日付を確認し、信頼できる情報源で照合する。

第4条

著作権と引用ルールを守る

顧客情報・人事情報・契約内容・数値データなど、社外に出せない情報は絶対に入力しない。

第5条

人格・倫理・公平性を尊重する

差別的・攻撃的・偏った内容を作らせない。AI利用でも「人としての品格」を守る。

第6条

意図を明確に伝える

「誰に・何を・どんなトーンで」伝えたいかを最初に指示。明確なプロンプトが正確な出力を生む。

第7条

社内ルールを共有する

どの業務に使ってよいか、どこまで入力してよいかをチームで統一。曖昧なまま使わない。

第8条

無料ツールの利用範囲を確認する

業務利用の禁止・データ学習の有無・利用規約を確認。有料版や法人アカウントの方が安全な場合も多い。

第9条

AIの得意・不得意を理解する

AIが得意なのは整理・要約・構成。判断・意思決定・感情表現は人の領域。役割を分けて使う。

第10条

失敗や学びをチームで共有する

トラブル・成功・工夫を共有し、再発防止とノウハウ蓄積につなげる。「隠さない文化」が安全をつくる。